

エコアクション21

環境経営レポート

2024年度

活動期間：（2024年4月～2025年3月）



トヨタ モビリティパーツ株式会社 静岡支社

レポート作成：2025年6月6日

目 次

【 1 】 支社概要	．．．．．	P	1
【 2 】 環境経営方針	．．．．．	P	2 ～ 3
【 3 】 推進体制	．．．．．	P	4 ～ 5
【 4 】 環境情報を用いたコミュニケーション	．．．	P	6
【 5 】 2024年度環境経営目標	．．．．．	P	7
【 6 】 2024年度環境経営目標に対する実績	．．．	P	8 ～ 9
【 7 】 2024年度環境経営の結果	．．．．．	P	10
【 8 】 2024年度取組結果とその評価	．．．．．	P	11 ～ 21
【 9 】 2024年度環境関連法規制の遵守状況	．．．	P	22
【 10 】 2025年度環境経営目標 修正明	．．．．．	P	23
【 11 】 2025年度の環境経営計画	．．．．．	P	24
【 12 】 代表者による評価と見直し・指示	．．．．．	P	25

改定管理表

初 版	2 0 1 2 年 4 月	第11版	2 0 2 2 年 6 月
第2版	2 0 1 3 年 5 月	第12版	2 0 2 3 年 6 月
第3版	2 0 1 4 年 6 月	第13版	2 0 2 4 年 6 月
第4版	2 0 1 5 年 7 月	第14版	2 0 2 5 年 6 月
第5版	2 0 1 6 年 7 月		
第6版	2 0 1 7 年 4 月		
第7版	2 0 1 8 年 4 月		
第8版	2 0 1 9 年 4 月		
第9版	2 0 2 0 年 6 月		
第10版	2 0 2 1 年 5 月		

【1】 支 社 概 要

- 事 業 所 名 トヨタ モビリティパーツ株式会社 静岡支社
- 支 社 所 在 地 〒426-0221 静岡県藤枝市高田 8 1 番地の 1
- 代 表 者 名 静岡支社長 京極 知樹
- 環境管理責任者 管理本部長 曾根 正基
- C S R 環境委員会事務局 監査部 監査室 堀江 孝雄
 連 絡 先 : 054-663-1900
 ホームページ : <http://www.shizuokakakyohan.co.jp>
- 事 業 内 容 自動車部品・用品の販売、並びに
 関連商品の販売、貨物輸送（共同物流）
- 事 業 規 模 売 上 高 : 207 億円（2025 年 3 月期）
 従 業 員 数 : 249 人（2025 年 3 月末現在）
 敷 地 面 積 : 17,826㎡
 床 面 積 : 13,623㎡
 事 業 所 : 支社本部、営業所 7 拠点

■ 適用の範囲（サイト認証）

事業所	住所	TEL
支社本部	静岡県藤枝市高田 8 1 番地の 1	054-663-1900
沼 津	沼津市花園町9-5	055-924-1011 (東部受注グループ)
富 士	富士市瓜島町25-1	
静 岡	静岡市葵区古庄6丁目11-18	054-663-1933 (中部受注グループ)
藤 枝	支社本部と同住所	
菊 川	菊川市本所1735-2	
浜 松	浜松市中央区北島町711	053-421-5121 (西部受注グループ)
浜松北	浜松市中央区高丘東1丁目1-30	

【2】環境経営方針

《CSR宣言》

私たち、トヨタモビリティパーツ株式会社 静岡支社は、その事業活動を通じて、地域社会から将来に亘り信頼され、共に発展することを目指し、お客様第一主義に徹した優れた商品とサービスを提供するとともに、『企業の社会的責任』を果たすため、次の3項目を継続的に改善することを、ここに宣言いたします。

1. 法令の遵守をはじめ、公正、公平で、倫理的に正しい行動を最優先とします。
2. 未来に向けて、地球環境の保全に努めます。
3. 良き企業市民として、社会に貢献するとともに、すべての社員が誇りに思える企業となることを目指します。

《基本方針》

私たちは、法およびその精神を遵守し、オープンでフェアな企業活動を通じて信頼される企業をめざし、以下のとおり全ての利害関係者を重視した事業活動を行い、地球環境、地域社会の持続可能な発展に貢献します。

<お客様に対して>

- ◆ 私たちは、「お客様第一主義」という信念に基づき、お客様が安全・安心にカーライフを送れるために、かつ、お客様のカーライフを豊かにするために、お客様に真に満足いただける優れた商品とサービスの提供に努めます。
- ◆ 私たちは、法令および、その精神を遵守し、お客様に信頼される営業活動の推進と個人情報保護の徹底に努めます。

<社会に対して>

- ◆ 私たちは、事業活動を通じ二酸化炭素排出量、廃棄物排出量及び水使用量の削減に努め地球環境・地域社会との調和ある成長を目指します。
- ◆ 私たちは、社会・経済の要請に応え、法令を守り、「人間性尊重」の経営を実践します。
- ◆ 私たちは、コミュニティの成長と豊かな社会作りを目指し、社会貢献活動を積極的に推進します。
- ◆ 私たちは、交通安全対策へ積極的に取り組みます。

<取引先に対して>

- ◆ 私たちは、取引先を尊重し、長期的な視野に立って相互信頼に基づく共存共栄の実現に取り組みます。
- ◆ 私たちは、独占禁止法、下請法をはじめとする関連法令およびその精神を遵守し、公正かつ自由な取引を行います。
- ◆ 私たちは、公正さを疑われるような贈呈や接待をしたり、受けたりはしません。

【2】環境経営方針

＜従業員に対して＞

- ◆ 私たちは、労働関連法令及び環境関連法令の遵守はもとより、従業員が生き生きと働けるように、相互信頼・相互責任の精神に則り、互いに思いやり、それぞれの考え方や立場を尊重します。
- ◆ 私たちは、従業員が誠実に仕事に取り組む、新しい価値の創造を目指すことができるよう、個々人の自己啓発・成長を支援します。
- ◆ 私たちは、環境教育に力を入れ、安全で健康的な職場環境作りに努めます。
- ◆ 私たちは、機密情報を厳重に取扱うとともに、適時的確な情報開示に努めます。

制定 2011年9月1日

改定 2020年4月1日

改定 2022年4月1日

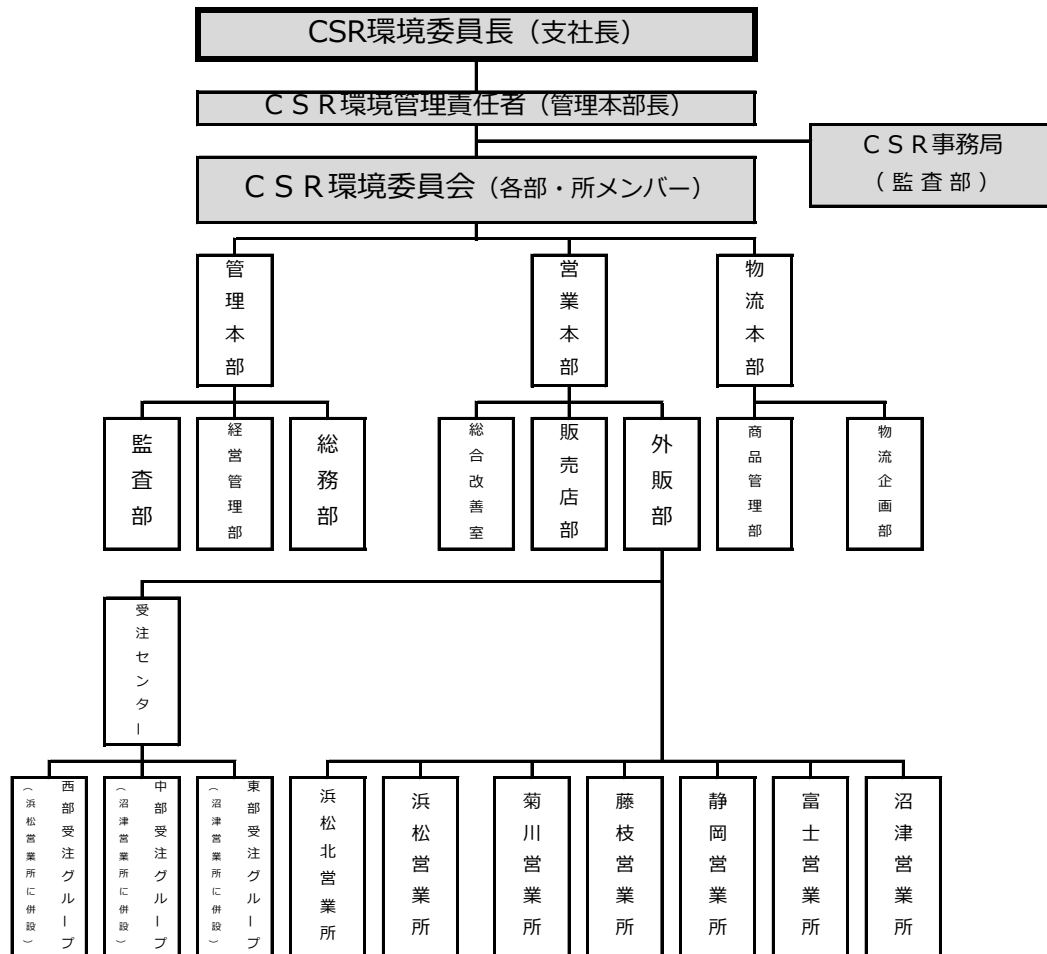
トヨタモビリティパーツ株式会社

静岡支社長 京極 知樹

【3】推進体制

※当支社はCSR環境委員会の組織に基づき、環境対応に取り組んでいます

2025年3月31日現在



	立場・役割
CSR環境委員長	① CSRの最終意思決定 ② 環境管理責任者の任命 ③ 方針の策定 ④ 実施体制の構築 ⑤ 資源の用意 ⑥ 全体の取組状況の評価、見直し ⑦ 課題とチャンスの明確化
CSR環境管理責任者	① 環境関連法令等の遵守状況承認 ② 環境活動の取組計画及び結果の承認 ③ 環境活動の取組結果をCSR環境委員長へ報告
CSR環境委員会	① CSRの意思決定機関
CSR事務局	① エコアクション21の取組状況確認 ② 「CSR基本方針」の立案・検討作業 ③ 内部監査(自・他部署チェック)の計画立案・実行・結果取りまとめ ④ 社会貢献活動の活性、地域との共生を積極的に推進
部門責任者 (室長・所長)	① 自部署の環境活動責任者 ② 部署員への環境活動の指示伝達及び教育

【3】推進体制

CSR環境委員会（各部・所メンバー）



関係者外秘

2024年4月23日
CSR環境委員会事務局

CSR環境委員会

2024年4月度

1. 日 時 2024年4月23日
2. 場 所 103、104
3. 出席者 京極支社 小澤部長、
柘植 祐弥、
太田 克、
事務局(堀)

4. 議 題

項 目	内 容
審議	1 藤枝市立葉梨中学校様・岡部中学校様 合同職場体験(案)

CSR環境推進項目						
静岡支社合計		24年4月～25年2月				
項 目	単 位	目 標	実 績	達成率	評 価	前年比

環境負荷削減項目

電気使用量
社用車燃料使用量
ガソリン使用量
軽油使用量
水道使用量
リサイクル品回収比率

社会貢献活動項目

エコキップ 回収
地域清掃活動
献血

3月度 『CSR環境委員会』 部署会議報告書 まとめ

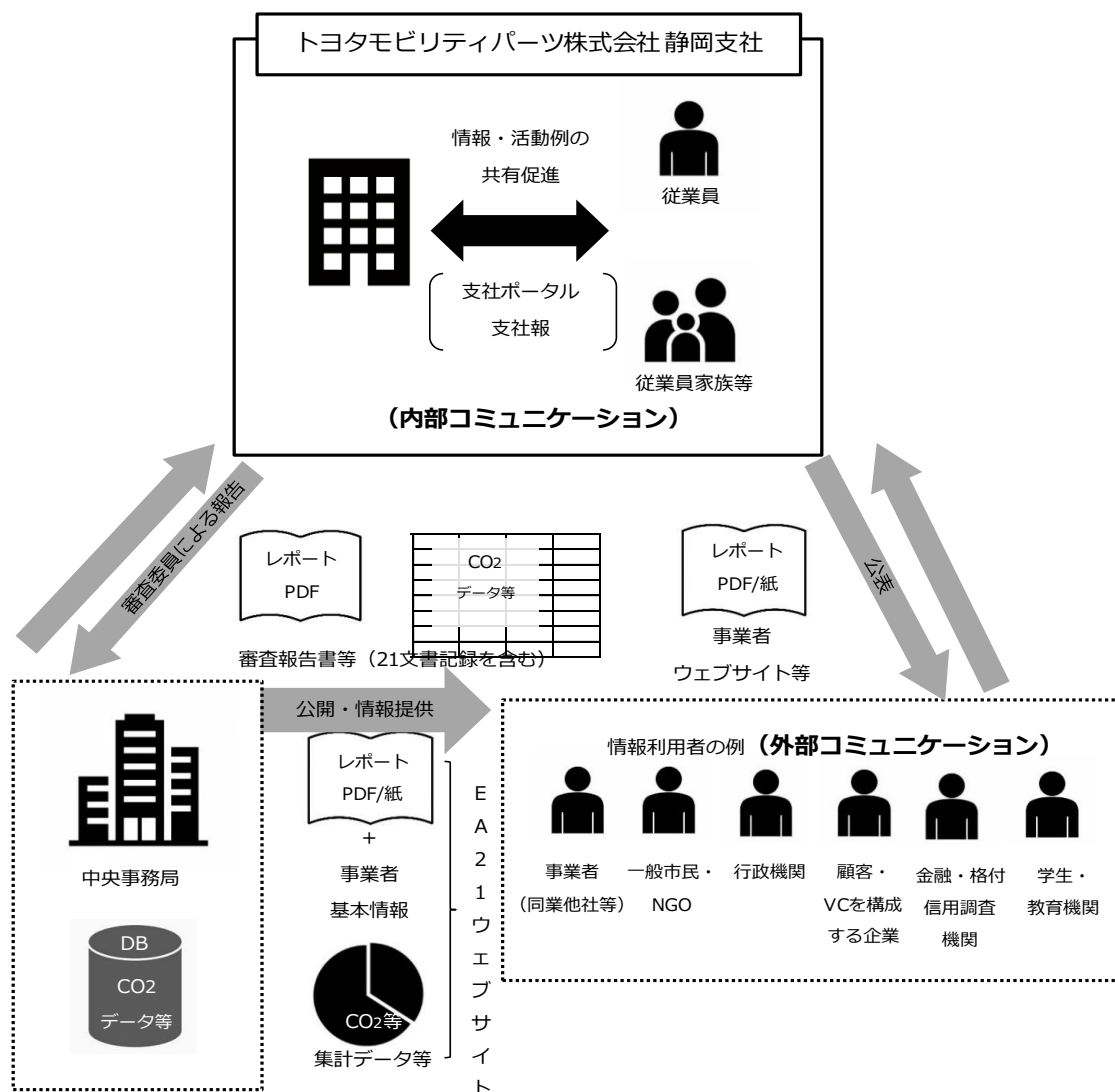
1. 報告日・内容

S E Q	報告内容	京 東 支 社 G	東 海 支 社 G	静 岡 支 社 G	本 部 G	南 部 支 社 G	西 部 支 社 G	東 部 支 社 G	北 部 支 社 G	経 営 管 理 部	総 務 部	経 営 管 理 部	外 部 関 係 部	西 部 支 社 G	東 部 支 社 G
1	「24年度職場体験・見学予定校について」	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2	「23年度『リサイクルパンバー』回収率 向上および廃棄物処理率向上について」	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3	「23年度 自衛隊収入にて特別支援学校 物品寄贈 報告」	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4	「産業廃棄物処理率向上 現地視察について」	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5	「高圧洗浄機による汚染防止活動の報告」	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6	「本社公園の清掃活動の報告」	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7	「市川町公園の周辺道路清掃活動の報告」	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8	「スペシャルオリンピックス日本・静岡から の感謝状紹介」	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9	「推進項目 進捗状況について (増減率 等の確認)」	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10	「事業所点検結果」	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11	「今後のスケジュール」	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

2. 部・所員からの意見

支社本部CSR環境委員は面着にて、営業所委員はテレビ会議にて委員会に出席、委員が部署内会議で委員会内容を報告し、環境活動情報の共有を図っている

【4】環境情報を用いたコミュニケーション



社内におけるメリット

- ・従業員や従業員家族等とのEA21の取り組みの共有
エコキャップ、書き損じはがき、不要文房具、不要衣類回収等の社会貢献活動
- ・他支社のウェブサイト閲覧による自支社取組見直しによる活動内容の向上

社外的メリット

- ・地域コミュニケーションの強化
年2回の各営業所の自治会訪問時、静岡支社の環境に対する取組や社会貢献活動を報告
- ・自社認知度向上
社会貢献活動に対する取組レポート公表やメディアに取り上げられることで認知度向上
- ・信用の付与
名刺にEA21のロゴを掲載することで、環境に対し信用される事業所となる

【5】2024年度環境経営目標

取組項目	単位	2022年度 実績 【基準年度】	2023年度 【目標】	2024年度 【目標】	2025年度 【目標】
1.二酸化炭素排出量の削減	kg-CO2	648,695	642,209	595,890	629,226
<<削減率>> ※1			<<1%削減>>	<<8%削減>>	<<3%削減>>
(1)電気 ※2	kWh	719,946	712,747	699,420	698,348
<<削減率>> ※1			<<1%削減>>	<<3%削減>>	<<3%削減>>
(2) ガソリン・軽油	L	141,231	139,819	124,430	136,994
<<削減率>> ※1			<<1%削減>>	<<12%削減>>	<<3%削減>>
(2)-1 ガソリン	L	80,564	79,758	83,260	78,147
<<削減率>> ※1			<<1%削減>>	<<3%増加>>	<<3%削減>>
(2)-2 軽油	L	60,667	60,061	41,170	58,847
<<削減率>> ※1			<<1%削減>>	<<32%削減>>	<<3%削減>>
(3)液化石油ガス	kg	3.9	3.9	0.0	0.0
<<削減率>> ※1			<<1%削減>>	<<100%削減>>	<<3%削減>>
2.廃棄物等排出量の削減	t	145.7	143.9	208.5	141.8
<<削減率>> ※1			<<1%削減>>	<<43%増加>>	<<3%削減>>
(1)産業廃棄物等排出量	t	141.8	140.0	204.7	138.0
<<削減率>> ※1			<<1%削減>>	<<44%増加>>	<<3%削減>>
(2)一般廃棄物等排出量	t	3.9	3.9	3.8	3.8
<<削減率>> ※1			<<1%削減>>	<<2%削減>>	<<3%削減>>
3.総排水量	m	2,800	2,772	1,531	2,716
<<削減率>> ※1			<<1%削減>>	<<45%削減>>	<<3%削減>>
4.化学物質の適正管理	回/年	2回/年	2回/年	2回/年	2回/年
5.環境配慮型の製品やサービスの提供	-	-	-	-	-
(1)リサイクルバンパーの回収	回収率	62.5%	63.5%	66.7%	65.5%
6.社会貢献活動の推進	-	-	-	-	-
(1)エコキャップ回収活動 ※3	個	64,916	68,100	71,100	68,100
(2)会社周辺の清掃活動	回/月	2回/月	2回/月	2回/月	2回/月

※1 削減率は対2022年度比 【項目別】 軽油目標減=入替による台数減(△5台)を見込む
総排水量目標減=前年度支社本部漏水による影響(378m)を減算

※2 電気の二酸化炭素排出量は、2022年のトヨタ・排出係数(0.424)で算出

※3 1人25個/月にて算出

【6】2024年度環境経営目標に対する実績

取組結果

評価 ○：目標達成 △：目標未達、基準年度より削減 ×：目標未達、基準年度より増加

取組項目	単位	2024年度		評価
		目標	結果	
1.二酸化炭素排出量の削減	kg-CO2	595,890	677,452	×
	基準年度比 «削減率»	«8%削減»	対目標：13.7%超過 (対前年：13.1%増加)	
(1)電気	kWh	699,420	817,812	×
	基準年度比 «削減率»	«3%削減»	対目標：16.9%超過 (対前年：15.2%増加)	
(2) ガソリン・軽油	L	124,430	125,311	×
	基準年度比 «削減率»	«12%削減»	対目標：0.7%超過 (対前年：1.3%増加)	
(2)-1 ガソリン	L	83,260	92,308	×
	基準年度比 «削減率»	«3%削減»	対目標：10.9%超過 (対前年：12.4%増加)	
(2)-2 軽油	L	41,170	33,003	○
	基準年度比 «削減率»	«32%削減»	対目標：19.8%削減 (対前年：20.6%削減)	
(3)液化石油ガス	kg	0.0	0.0	○
	基準年度比 «削減率»	«100%削減»	対目標：100.0%削減 (対前年：100.0%削減)	
2.廃棄物等排出量の削減	t	208.5	205.5	○
	基準年度比 «削減率»	«43%増加»	対目標：1.4%削減 (対前年：15.0%増加)	
(1)産業廃棄物等排出量	t	204.7	201.2	○
	基準年度比 «削減率»	«44%増加»	対目標：1.7%削減 (対前年：15.3%増加)	
(2)一般廃棄物等排出量	t	3.8	4.3	×
	前年度比 «削減率»	«2%削減»	対目標：13.2%超過 (対前年：3.1%増加)	
3.総排水量	m ³	1,531	1,532	△
	基準年度比 «削減率»	«45%削減»	対目標：0.1%超過 (対前年：20.5%削減)	
4.化学物質の適正管理	回/年	2回/年	2回/年	○
5.環境配慮型の製品やサービスの提供	-	-	-	-
(1)リサイクルバンパーの回収	回収率	66.7%	55.4%	×
6.社会貢献活動の推進	-	-	-	-
(1)エコキャップ回収活動	個	71,100	82,247	○
(2)会社周辺の清掃活動	回/月	2回/月	2回/月	○

※令和7年3月18日環境省・経済産業省公表のトヨタエネルギー係数0.464を使用

【6】2024年度環境経営目標に対する実績

項 目	単位	計 画	実 績	計画比	備 考
電気					
総電力使用量	kWh	1,031,430	1,129,313	109.5	
太陽光発電量	"	332,010	311,501	93.8	全日日照量 △3.0%/年
購入電力量（受電）合計	"	699,420	817,812	116.9	
通常使用分	"	709,834	736,848	103.8	支社本部エレベーター使用頻度増
削減取組効果	"	△ 10,414	△ 10,601	101.8	
エアコン稼働最適化	"	△ 2,154	△ 2,371	110.1	
稼働日減少	"		△ 8,230	-	年間稼働日減少 344日→340日
他増減要因	"	0	84,996	-	
気温上昇によるエアコン使用増	"		49,323	-	7～10月:平均気温前年+1.06℃
気温低下によるエアコン使用増	"		33,252	-	12～3月:平均気温前年△1.00℃
残業時間増による電力使用増	"		2,421	-	残業時間前年比較+3.1%
ガソリン・軽油					
ガソリン・軽油	ℓ	124,430	125,311	100.7	走行距離 前年比較: +1.7%
ガソリン	"	83,260	92,308	110.9	
通常使用分	"	81,320	90,977	111.9	軽油→ガソリン車切り替え促進
共同配送分（沼津地区追加）	"	1,940	0	0.0	運用台数 計画2台→実施0台
販売店部営業活動拡大	"		2,283	-	走行距離: +33,025km/年
稼働日減少	"		△ 890	-	年間稼働日減少 344日→340日
BEV（電気自動車）導入	"		△ 62	-	プリウスPHV→bZ4X
軽油	"	41,170	33,003	80.2	軽油→ガソリン車切り替え促進
通常使用分	"	41,170	31,535	76.6	
共同配送分（沼津地区追加）	"		1,708	-	運用台数 計画0台→実施2台
稼働日減少	"		△ 240	-	年間稼働日減少 344日→340日
産業廃棄物排出量					
産業廃棄物排出量	t	204.7	201.2	98.3	
通常排出分	"	171.5	171.5	100.0	
パール缶形状変更影響	"	23.0	10.5	45.7	対象缶出荷減少
S部品（※1）パレット	"	6.1	15.0	245.9	S部品出荷金額: +241%/年
菊川営業所不要物廃棄	"	4.1	4.2	102.4	
静岡ダイハツ分	"	0.0	0.0	-	静岡ダイハツへの返却
一般廃棄物排出量					
産業廃棄物排出量	t	3.8	4.3	113.2	
通常排出分	"	3.8	4.3	113.2	
静岡ダイハツ分	"	0.0	0.0	-	静岡ダイハツへの返却
水道					
水道	m	1,531	1,532	100.1	
通常使用分	"	1,531	1,559	101.8	
稼働日減少	"		△ 27	-	年間稼働日減少 344日→340日
藤枝支社本部漏水分	"	0	0	-	
リサイクルバンパー回収率					
全社	%	66.7	55.4	△ 11.3	
販売店	"	84.1	69.3	△ 14.8	
外販	"	36.5	32.2	△ 4.3	

※1 S部品：国土交通省へ『リコール・改善対策の届出』が行われその対象となった交換部品

【7】2024年度環境経営の結果

主要な環境経営の内容

評価(取組に対し評価) ○: 効果有 △: 効果不十分 ×: 効果無し

項 目		実施時期	該当部署	実施の可否	評価
1. 二酸化炭素排出量の削減					
(1)電気					
① 室内温度の管理の徹底	通年	全部署	○	○	
② 不要時の照明オフの実施			○	○	
③ パソコンの省電力設定の徹底			○	○	
④ ノー残業DAY実施			○	○	
⑤ トヨタ環境月間に連動したライトダウンキャンペーン実施			○	○	
⑥ 創意くふう制度における省エネ活動の実施・継続			○	○	
⑦ 電力消費量の見える化による日常管理の意識付け			○	○	
⑧ エアコンフィルターの定期清掃	4回/年		○	○	
⑨ 藤枝支社本部社屋の太陽光発電、BEMSの省エネ設定	随時	管理本部	○	○	
(2)-1,2 ガソリン・軽油					
① テレビ・TEAMS会議導入により、社用車使用の減	通年	全部署	○	○	
② 安全点検の徹底（タイヤ空気圧、オイル交換）	随時	管理本部	○	○	
③ 社用車のさらなるPHV・HV化の継続			○	○	
④ サテライトオフィス運用により移動距離短縮			○	○	
2. 廃棄物等排出量の削減					
(1) 産業廃棄物等排出量					
① 廃棄物の実績管理	通年	全部署	○	○	
② リユース、リサイクルの推進			○	○	
(2) 一般廃棄物等排出量					
① ゴミ分別の徹底	通年	全部署	○	○	
② 裏紙再利用の徹底			○	○	
③ 廃棄物の実績管理			○	○	
④ ペーパーレス会議等の推進	随時		○	○	
⑤ 認証印刷システム活用による不要印刷削減			○	○	
3. 総排水量					
① 使用量の確認と大幅な増加（水漏れ等）のチェック	通年	全部署	○	○	
② 水道使用量の見える化による日常管理の意識付け			○	○	
4. 化学物質の適正管理					
① 化学物質の適切管理	2回/年	物流本部	○	○	
5. 環境配慮型の製品やサービスの提供					
① リサイクルバンパーの回収（啓蒙ステッカー貼付で回収率向上を図る）	通年	全部署	○	△	
6. 社会貢献活動の推進					
① エコキャップ回収活動	通年	全部署	○	○	
② 会社周辺の清掃活動	2回/月		○	○	
(3) その他取組み					
① 献血の促進	随時	全部署	○	○	
② 書き損じはがき回収活動の推進			○	○	
③ 自治体主催の清掃活動の参加			○	○	
④ 拠点美化活動の実施			○	○	
⑤ 文房具・衣料品寄付活動			○	○	
⑥ 『こども110番の家』登録（6事業所）			○	○	
⑦ 「スペシャルオリンピックス日本・静岡」への支援			○	○	
⑧ 特別支援学校への教材支援			○	○	
⑨ トヨタソーシャルフェス（環境保全活動）への参加			○	○	
⑩ 『各自治体との連携(防犯活動)』参画			○	○	
⑪ 交通立哨実施			4回/月	○	○
⑫ 油水分離槽からの油流出時の対策	1回/年	支社本部	○	○	

【8】2024年度取組結果とその評価

1. 二酸化炭素排出量の削減

(1) 電気

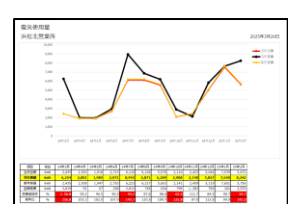
□ 削減に向けた取組

- ・ 室内温度管理の徹底
- ・ 不要時の消灯、電源オフ（休憩、昼休み等）
- ・ パソコンの省電力設定の徹底
- ・ ノー残業DAY実施（月1回、第3水曜日）
- ・ ライトダウンキャンペーン実施（6月18日）
- ・ 創意くふう制度における省エネ活動の実施・継続
- ・ CSR環境委員会にて目標に対する実績結果を公表し、原因追求、対応協議し、委員・メンバーに告知し推進を図った
- ・ エアコンフィルター清掃（4回/年）の継続実施
- ・ BEMSデータ活用による、エアコン稼働最適化 ⇒ 電力使用量削減
 （ 藤枝支社本部、朝のエアコン分散予約起動、昼休みエアコン連続運転化
 により太陽光発電電力との相殺にて電力使用量削減 ）

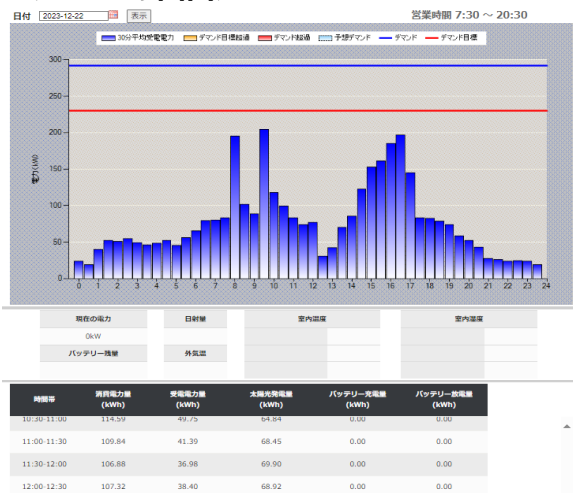
<創意くふう提案用紙>



<CSR環境委員会資料>



<BEMSの画面>



<エアコンの起動予約設定画面>



□ 減少要因

- ・ 会社休業日を23年度と比較し4日増加させたことにより、使用電力が減少
 （ 従業員のワークライフバランス推進、労働組合との年間休日の協議 ）

□ 増加要因

- ・ 共同配送事業拡大により藤枝支社本部のエレベーター稼働増 ⇒ 電力使用量増加
- ・ 7～10月平均気温上昇（前年対比：+1.06℃）によるエアコン稼働増
- ・ 12～3月平均気温低下（前年対比：△1.00℃）によるエアコン稼働増

項目	対目標	対前年同期	評価
削減率	+16.9%	+15.2%	×

評価 ○：目標達成
 △：目標未達、前年度より減少
 ×：目標未達、前年度より増加

【8】2024年度取組結果とその評価

1. 二酸化炭素排出量の削減（続き）

(2)-1,2 ガソリン・軽油

□ 削減に向けた取組

- ・WEB会議（Teams,ZOOM）、サテライトオフィス活用による移動距離短縮
- ・社用車ドライブレコーダー設置による急発進の抑制、安全点検チェックの実施・継続
- ・BEV（電気自動車）1台導入

□ 減少要因

- ・会社休業日を23年度と比較し4日増加させたことにより、走行距離が減少
〔従業員のワークライフバランス推進、労働組合との年間休日の協議〕
- ・共同配送（ダイハツ沼津追加分） 開始日変更：計画'24年8月19日→結果'24年9月3日（稼働日15日減）

□ 増加要因

- ・販売店部スタッフひとり当たりの移動距離増：+33,025km/年

□ 増減比較

<燃料消費目標比較>

項 目	目 標		実 績	増 減	備 考
ガソリン	83,260 ℓ	➡	92,308 ℓ	+9,048 ℓ	2台増車、ディーゼル車から5台切り替え
軽 油	41,170 ℓ		33,003 ℓ	△ 8,167 ℓ	ガソリン車へ5台切り替え
合 計	124,430 ℓ		125,311 ℓ	+881 ℓ	

<保有台数推移>

項 目	2024年3月		2025年3月	増 減	備 考
BEV	0 台	➡	1 台	+1 台	
HEV・PHEV	21 台		23 台	+2 台	
ガソリン車	51 台		58 台	+7 台	2台増車、ディーゼル車から5台切り替え
ガソリン車（HV・PHEV含）	72 台		81 台	+9 台	
ディーゼル車	25 台		20 台	△ 5 台	ガソリン車へ5台切り替え
合 計	97 台		102 台	+5 台	

項 目	対目標	対前年同期	評 価
削 減 率	+0.6%	+1.2%	×

2. 廃棄物等排出量の削減

(1) 産業廃棄物等排出量

□ 削減に向けた取組

- ・廃棄物の実績管理継続
- ・リユース、リサイクルの促進継続
- ・外部持ち込みパレットを持ち込み業者への回収依頼を継続
- ・廃棄時積み重ねができないペール缶向け専用オープナー配布により、廃棄時の容積減

□ 減少要因

- ・製造元変更により廃棄時積み重ねができないペール缶の出荷減

□ 増加要因

- ・S部品：国土交通省へ『リコール・改善対策の届出』が行われその対象となった交換部品出荷増 出荷金額：+241%/年
その為、メーカーが搬送時に使用する使い捨てパレットの使用が増加

項 目	対目標	対前年同期	評 価
排 出 量	△1.7%	+15.3%	○

【8】 2024年度取組結果とその評価

2. 廃棄物等排出量の削減

(2) 一般廃棄物等排出量

□ 削減に向けた取組

- ・ゴミ分別の徹底継続
- ・会議資料ペーパーレス化、認証印刷の継続実施及び枚数管理、両面コピー、裏紙再利用等による無駄の削減（前年△17.3%/年）
- ・廃棄物の実績管理継続
- ・打ち合わせ時にモニター活用によるペーパーレス化
- ・持ち込みプラゴミの持ち帰り徹底



認証印刷システム

□ 増加要因

- ・社外秘資料処分によりシュレッダーダスト排出量増加（+0.22t）
（2025年4月1日付幹部社員人事異動影響）

項 目	対目標	対前年同期	評 価
排 出 量	+13.2%	+3.1%	×



ペーパーレス打ち合わせ

3. 総排水量

□ 削減に向けた取組

- ・植栽の水撒きに雨水タンク貯水分を継続利用

□ 減少要因

- ・会社休業日を23年度と比較し4日増加させたことにより、総排水量が減少
〔 従業員のワークライフバランス推進、労働組合との年間休日の協議 〕

□ 増加要因

- ・共同配送拡大による支社本部請負作業人員4名増員

項 目	対目標	対前年同期	評 価
削 減 率	+0.1%	△20.5%	△



雨水タンク

4. 化学物質の適正管理

2024年度取組み（次年度も継続実施）

化学物質の管理 【L L C（不凍液）】 <非排出事業者(保管)のため貯蔵量の把握のみ>
年2回（棚卸）、L L Cの在庫数量を抽出し、貯蔵量を把握

項 目	目 標	対前年同期	評 価
棚 卸	2回/年	2回/年	○

【8】2024年度取組結果とその評価

5. 環境配慮型の製品やサービスの提供（続き）

(1) リサイクルバンパー回収

◇ 活動内容

- ・回収したバンパーを破碎し、パーツとして再活用することにより省資源化に貢献



回収したリサイクル
バンパー

バンパー
破碎機

破碎後
チップ

自動車のエンジン
アンダーカバーに再活用

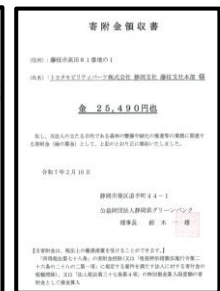
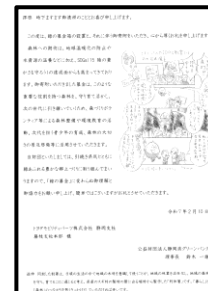
- ・リサイクルバンパー回収啓蒙ステッカーを作成し、出荷時に貼り付けることにより回収率向上を図った

回収啓蒙ステッカー



- ・リサイクルバンパーのリサイクル意識向上のため、回収実績をCSR環境委員会にて各部にフィードバックを行った
- ・お客様と一体となった社会貢献活動として、植樹団体へ回収本数に応じた寄付活動を継続実施し、リサイクルバンパー回収率UPを図った

回収本数 (4-12月)	寄付金額	寄付先
2,549本	25,490円	静岡県グリーンバンク



感謝状 寄付金額収書

◇ 活動結果

- ・リサイクルバンパー回収啓蒙ステッカーを運用した4月～5月で効果は見られたが、定着できず、4～3月の累計ではすべてのルートで前年を下回った

販売ルート	'24年度			
	目標	実績	対前年同期	評価
全社	66.7 %	55.4 %	△ 3.0 %	×
販売店	84.1 %	69.3 %	△ 2.5 %	×
外販	36.5 %	32.2 %	△ 3.2 %	×
部品商		28.3 %	△ 3.0 %	
直売		44.2 %	△ 2.5 %	

【8】2024年度取組結果とその評価

6. 社会貢献活動の推進

(1) エコキャップ回収活動

◇活動内容

- ・発展途上国の医療支援のため、回収活動を実施（2011年～）
- ・各部署や休憩室に回収箱を工夫して設置し、意識付けを図った
- ・回収実績をCSR環境委員会にて各部にフィードバック



回収したエコキャップ



回収箱



回収箱

◇活動結果

- ・環境のミカタ(株)へ寄付

取組時期		個数	累計個数	ワクチン人数換算	累計ワクチン人数換算
第1～9回	2011年度～	—	757,834 個	—	778 人分
第10回	2024年度	82,247 個	840,081 個	96 人分	874 人分

(2) 会社周辺の清掃活動

◇活動内容

- ・地域美化運動として、支社本部及び、営業所周辺の清掃活動を従業員の自主参加により月に2回実施＜活動開始：2010年12月より継続＞



清掃活動を通じて
地域との
つながり
感じている

◇活動結果

取組時期	実施回数	累計実施回数
2010年度～	—	1,738 回
2024年度	126 回	1,864 回

◆当支社が参加している行政実施の清掃支援活動

沼津市	「ぬまづまちピカ応援隊制度」	(沼津営業所)
富士市	「ふじクリーンパートナー」	(富士営業所)
静岡市	「静岡市道路サポーター」	(静岡営業所)
藤枝市	「まち美化里親制度」	(藤枝支社本部・藤枝)
浜松市※	「道路里親制度」	(浜松・浜松北営業所)

※浜松市「道路里親制度」は24年度より支援開始



浜松市道路里親制度

【8】2024年度取組結果とその評価

6. 社会貢献活動の推進

(3) その他取組み

① 献血の促進（1994年度から実施）

- ・ 血液不足解消のため日本赤十字社に協力し毎年実施
- ・ 支社本部および、移動採血車（バス）の派遣が可能な営業所で実施

※ 昨年まで実施していた浜松営業所は業務時間内での駐車場の安全確保が困難になったため実施を見送った



【支社本部】献血中の様子



② 献血の促進策の展開（'24年9月より新規取組として展開）

【献血月間】の制定

毎年5月・10月を『献血月間』と定めた

献血協力のための就業時間内の外出を業務扱いとして許可

もよりの献血会場に足を運び、献血に協力をしていただく

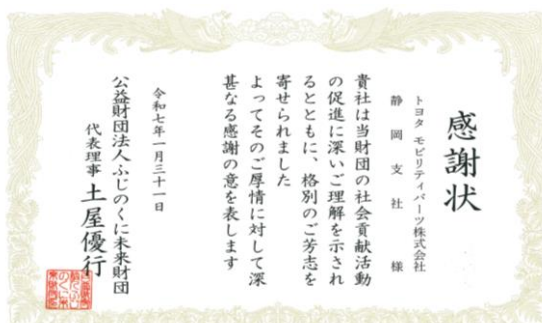


取組時期		場所	人数	累計
2011年度～(34回)		—	—	386 名
2024年度	10月9日	支社本部	28 名	414 名
		近隣企業 4社から	1 名	- 名
	10月度	献血月間活用	4 名	0 名
合 計			32 名	418 名

② 書き損じはがき回収活動の推進（2016年度から実施）

- ・ 業務時や当社従業員の家庭から出るはがき（不要・書き損じ）を持ち寄り、「ふじのくに未来財団」へ送付。同団体を通じ、県内の地域社会の課題に即した取り組みや事業に活用される

取組時期		枚数	累計枚数	寄付相当額	累計寄付相当額
第1～10回	2016年度～	—	1,846 枚	—	83,503 円
第11回	2024年度	153 枚	1,999 枚	8,810 円	92,313 円



【8】 2024年度取組結果とその評価

6. 社会貢献活動の推進（続き）

(3) その他取組み

③自治体主催の清掃活動の参加（2015年度より実施）

- ・ CSR環境メンバーが発案者となって、各事業所の周辺にて行なわれている行政や他団体の活動協力や、自主的に企画した貢献活動へ参加（従業員および家族）

取組時期	企画数	参画人数	累計人数
2015年度～	88	- 人	1,001 人 内家族参加65人
2024年度	9	51 人	1,052 人 内家族参加65人

2024年度 清掃活動の参加



浜名湖クリーン作戦(6/2)



高丘公園周辺草刈(7/7)



高田地区河川清掃(8/25)



瓜島町公園清掃(9/22)



天竜川クリーン作戦(11/10)



花園公園清掃(12/1)



プロギング=ゴミ拾い(2/16)



古庄公園清掃(3/2)



高丘クリーンデー(3/2)

【8】2024年度取組結果とその評価

6. 社会貢献活動の推進（続き）

(3) その他取組み

④拠点美化活動の実施（2016年より実施）

- ・周辺の地域清掃活動と同様に、支社本部及び営業所敷地内の美化活動を実施



⑤文房具・衣料品寄付活動（2018年より実施）

- ・従業員の家庭や会社で使わなくなった物や余っている物を募り必要としている人にNPOの各寄付団体を通じて、文房具はベトナム、タイ、カンボジア等の学校へ、衣料品は貧困や自然災害、紛争で衣料を必要とするアフリカ、中東、アジアの人々に寄付

取組時期	文房具		衣料品	
	数量	累計数	数量	累計数
2018年度～	- 品	1,253 品	- 品	447 品
2024年度	141 品	1,394 品	130 品	577 品

◇主な寄贈品

- ・文房具類・・・ボールペン・シャープペン・マーカーペン・鉛筆・消しゴム・クレパス・芯のり・はさみ・カッターナイフ・電卓他
- ・衣料品類・・・タオル・タオルケット・シーツ・シャツ類・靴下他

2024年度の寄贈品



文房具類



衣料品類

⑥『こども110番の家』登録

- ・犯罪から子供を守るため、不審者に遭遇した子供がかけ込む避難場所として登録（6事業所）

沼津営業所・富士営業所・静岡営業所・
菊川営業所・浜松営業所・浜松北営業所



【7】 2024年度取組結果とその評価

6. 社会貢献活動の推進（続き）

(3) その他取組み

⑦「スペシャルオリンピックス日本・静岡」への支援（2016年度より実施）

- ・スペシャルオリンピックスとは、知的障がいのある人達に、スポーツを通じて社会参加を応援する国際的な組織であり、当社は2017年に正会員に加入
2018年度より理事を拝命
- ・主な活動としては、各種大会開催時のアスリート応援と運営補助及び、景品・活動費の支援

取組時期	催事参画数	参画人数	参画人数累計
2016年度～	24	- 人	206 人 含む応援参加
2024年度	4	16 人	222 人



6/2
夏季地区大会卓球



6/16 夏季地区大会
ボウリング



10/20
チャリティーボウリング



11/10
全体交流会

- ・スペシャルオリンピックス日本静岡の支援自販機を、
2022年6月に藤枝営業所前に設置
- ・収益の一部をスペシャルオリンピックス日本・静岡様に寄付



⑧特別支援学校 への教材支援（2016年より実施）

- ・自販機収益の一部を原資に静岡県内の特別支援学校様に必要な教材・機材等を寄贈

取組時期	累計
2016年度～	18 校
2024年度	20 校
・ 静岡大学教育学部付属特別支援学校	19 校
・ 浜松特別支援学校 城北分校	20 校

[過去支援内容(一部)]

◇教材関連

ベルトサンダー、卓上糸鋸機、吊下パネル
電子黒板、プロジェクター、跳び箱、長胴太鼓

◇野外活動・災害関連

発電機、トランシーバー、リアカー他

静岡大学教育学部付属特別支援学校 2月28日贈呈



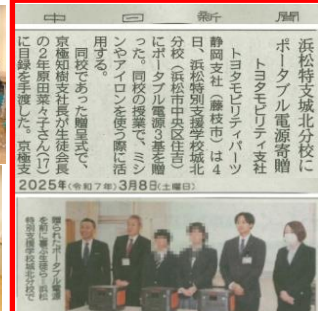
[支援品] 楽器セット（木琴等打楽器）8台



浜松特別支援学校 城北分校 3月4日贈呈



[支援品] ポータブル電源 3台



【8】 2024年度取組結果とその評価

6. 社会貢献活動の推進（続き）

(3) その他取組み

⑨ トヨタソーシャルフェス（環境保全活動）への参加

- ・ 11/2に相良海岸にて行われたトヨタソーシャルフェスに参加しました
静岡県内のトヨタ関連企業従業員が主体となり一般参加者を加えて総勢約80名で、
当社からは3名の参加となり、竹と麻紐を用いて堆砂垣を作り、海ガメ産卵地の
環境保全に貢献

（SDG s の推進・継続）

※トヨタソーシャルフェス：トヨタ関連企業が全国で行う環境保全の参加型アクションプログラム



⑩ 『各自治体との連携(防犯活動)』 参画

- ・ 沼津市『ながら見守り活動』に参画。TMP静岡支社が企業としての参加第1号
沼津営業所の社用車13台にこのプレート进行貼り、地域の見守りに貢献
また、清掃活動中に腕章を装着することで、地域の犯罪抑止に貢献



5月

- ・ 藤枝市『安全安心サポートネットワーク事業』に参画
新聞配達・宅配などの各家庭を訪問する従来の事業者向けの活動に、ルート営業中
に行う防犯活動を静岡支社側から新たに提案。採用された新スタイルでの活動を開始



9月

【8】2024年度取組結果とその評価

6. 社会貢献活動の推進（続き）

(3) その他取組み

⑪交通立哨実施

- ・全国・県の交通安全運動と連動し、立哨活動を継続実施
- ・事業所の地元自治会との連携や周辺他社への参加呼びかけを実施
- ・ドライバーに安全運転への注意喚起を促し、地域の交通事故の低減に貢献

取組時期	立哨実施日	参加人数	累計参加人数
2023年度～	延べ参加拠点：14拠点	－名	124名
春の全国交通安全運動	4月10・11日・12日	63名	187名
夏の交通安全県民運動	7月11・12・17・18日	68名	255名
秋の全国交通安全運動	9月26日	65名	320名
年末の交通安全県民運動	12月17日	71名	391名
24年度交通安全運動 合計	延べ参加拠点：28拠点	267名	391名

4月、7月は天候不順により、各部署順次実施に変更



富士営業所



支社本部



沼津営業所

⑫油水分離槽からの油流出時の対策

- ・油流出が発生した時の対策・対応ルールを明確化にし、実際に流出したケースを想定した訓練の継続（2025年3月3日実施 参加人数2名）
- ・必要備品の保管場所を確保しルールに対応できる環境を整備

新社屋運用ルール

項目	運用ルール	備考(注意事項、写真、図等)																											
パルク設備 油漏	<内容> 1.発見者は担当者に報告 2.担当者には現場確認を実施 3.担当者以上は状況報告 4.漏洩箇所のクレーニングを取り外す 5.24時間パルク、スピンナーハンズ、パール、筆字を使用 6.漏洩した油、泥は吸油マットで吸油する 7.静電防止剤を吸油マットにて覆い、流出拡大を抑制する 8.静電防止剤から外部に排出する量(2箇所)を吸油マットで覆く 9.漏洩した油を拭き上げておく 10.油を全量回収後機材回収する(油は廃油として処理) 11.実行へ連絡する ・ 藤枝市生活環境課 054-643-3653 ・ 志太消防本部 藤枝消防署 北分署 054-643-9991 ・ 藤枝警察署 054-641-0110 12.本部へ連絡する ※ 各部署本部スローションルールに沿って報告する コグリアアスファルト舗装コグリアアスファルト舗装 松永重長 090-1164-8550	①箇所 ②箇所 ※吸油マット 品番OB4-005 054-721100 品番OB4-003 054-721140																											
<必要な備品>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>品名</th><th>数量</th><th>保管場所</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1. 吸油マット</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>2. スピンナーハンズ</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3. パール</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>4. 筆字</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>5. 静電防止剤</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>6. 静電防止剤</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>7. 静電防止剤</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>8. 静電防止剤</td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	品名	数量	保管場所	1. 吸油マット			2. スピンナーハンズ			3. パール			4. 筆字			5. 静電防止剤			6. 静電防止剤			7. 静電防止剤			8. 静電防止剤			
品名	数量	保管場所																											
1. 吸油マット																													
2. スピンナーハンズ																													
3. パール																													
4. 筆字																													
5. 静電防止剤																													
6. 静電防止剤																													
7. 静電防止剤																													
8. 静電防止剤																													



【9】環境関連法規制の遵守状況

当社に適用となる主な環境関連法規制等

【チェック実施日：2025年3月31日】

○：遵守、－：該当なし、×：非遵守

適用環境関連法規等	主な要求事項	確認事項	結果
大気汚染防止法	①ばい煙規制基準の順守	・該当無し 支社本部ディーゼル発電機 燃料消費能力40.6 L/h	-
水質汚濁防止法	地下水に汚染物質が浸透するおそれのある施設をもつ事業者 ①地下タンクの設置届出 ②地下タンクの点検・管理	・該当無し	-
下水道法	①排出基準の遵守	・該当無し 1日平均排出水量が50m未満	-
浄化槽法	①水質測定及び設備の保守点検、清掃	・保守点検記録表 ・浄化槽法定検査結果書	○
騒音規制法	①騒音規制基準の順守	・届出書	○
振動規制法	①振動規制基準の順守	・届出書	○
廃棄物処理法	①一般廃棄物及び産業廃棄物の適正処理	・目視確認	○
		・産業廃棄物処理業者 訪問時に認可証・状況確認	○
	②産業廃棄物管理票（マニフェスト） の交付及び5年間の保管	・WEB版マニフェスト	○
	③産業廃棄物管理票（マニフェスト） の県報告（1回/年）	・WEB版マニフェスト	○
家電リサイクル法	①特定4品目（下記）の再資源化の義務 家庭用エアコン、テレビ 冷蔵庫・冷凍庫、洗濯機・衣類乾燥機	・該当無し	-
自動車リサイクル法	①特定3品目（下記）の再資源化の義務 エアバッグ・フロン・シュレッダーダスト	・該当無し 車両装着状態の流通が前提	-
資源有効利用促進法	①部品等の再使用対策の推進	・リサイクルバンパー回収 スキーム	○
消防法	①防火管理者の選任	・危険物取扱者免状との照合	○
	②貯蔵所の届出、貯蔵量の遵守	・届出書	○
	③指定可燃物の届出	・届出書	○
	④地下タンクの設置届出	・届出書	○
	⑤地下タンクの漏洩検査	・点検記録簿	○
フロン排出抑制法	①フロンを冷却冷媒とする機器の点検を 3ヶ月毎実社内点検実施（出力7.5KW未満）	・点検記録簿	○
	②エアコンの点検を1年毎業者 にて点検（出力7.5KW以上）	・点検記録簿	○
	③第1種特定製品廃棄等実施者の引渡義務	・引取証明書	○
静岡県産業廃棄物の適正な処理 に関する条例	①産業廃棄物処理業者の処理状況 を年1回現地確認	・現地確認	○
	②産業廃棄物管理責任者の設置 （各拠点に60cm×60cmの表示）	・現場確認	○

2. 遵守状況および違反、訴訟等

当支社は、自社の遵守状況調査で違反が無いことを確認しました

また、過去6年以上関係当局より環境関連法規の違反等の指摘は無く、訴訟等もありませんでした

評価者 C S R環境委員会事務局 堀江孝雄

2024年度 環境経営目標 修正明細

			①		静岡ダイハツ、ダイハツ沼津共同配送及び 環境の変化の影響			②		①+②		2024年度 目標		2024年度 前年比		取組み内容・考え方	
環境負荷削減項目			単位		当初目標	前年比			増減額		目標案		目標	前年比			
電気使用量			kWh	1,041,845	1,031,430	99.0					1,031,430	→	99.0				
電力会社より購入分電力使用量			kWh	709,834	699,420	98.5	既運用の静岡ダイハツと同じペースでダイハツ沼津を行う為、使用電力量の増加はなし			699,420	→	98.5	エアコン稼働の効率化、BEMS活用、不要な照明消灯により購入電力量削減（前年比△1.5P）				
太陽光発電分			kWh	332,011	332,010	100.0				332,010	→	100.0	前年並み				
燃料（ガソリン+軽油）			ℓ	123,729	122,490	99.0			+ 1,940	124,430	→	100.6	新配送ダイヤによる効率の良い配送の実施				
ガソリン			ℓ	82,144	81,320	99.0	ダイハツ沼津分2台増加分を加算（+1,940 ℓ /年）		+ 1,940	83,260	→	101.4					
軽油			ℓ	41,585	41,170	99.0				41,170	→	99.0	ドラレコ確認による急発進抑止、不要なアイドリング削減				
水 道			m	1,928.2	1,909.0	99.0	支社本部漏水分を除外（△378.0m/年）		ダイハツ沼津分2名増加分を加算（+5.8m/年）	△ 372.2	1,536.8	1,531.0	79.4	前年全社平均以下の事業所は前年の1人当たりの使用量に人数を乗じて目標値を算出 全社平均を超過している事業所は全社平均値の使用量を人数に乗じて目標値を算出			
リサイクルバンパー回収			%	58.4	-	-				58.4	66.7	+ 8.3	取組み強化月間回収率（'24年3月～4月 販売店：84.1%、営業所合計：36.5%）を'24年度目標として設定 →24年度：強化月間を継続実施(2 回)				
販売店			%	71.8	-	-				71.8	84.1	+ 12.3	店舗別回収実績を提示しての回収依頼活動実施				
外販（営業所）			%	35.3	-	-				35.3	36.5	+ 1.2	出荷先に出荷実績を提示し、回収活動を実施し、所長が実績管理				
産業廃棄物等排出量			t	867.50	859.00	99.0			+ 31.70	890.70	943.7	108.8					
廃タイヤ			t	693.00	686.00	99.0				686.00	739.0	106.6	販売計画：106.6%と連動				
その他産業廃棄物			t	174.50	173.00	99.1	静岡ダイハツ分の廃棄物を返却（△1.52t/年）		菊川営業所 危険箇所使用停止に伴い不要物廃棄（+4.10t/年） S部品/パレット（+6.10t）	+ 31.70	204.70	→	117.3	増加要因を除き前年△1.0P 外部持ち込みパレットを持ち込み業者へ回収依頼を継続			
							ペール缶形状変更にて排出容積量増加（'23年10月より積重ね不可）→廃棄用工具の供給不足により缶を潰せず（+23.0t/年）										
一般廃棄物等排出量			t	4.18	4.14	99.0			△ 0.33	3.81	→	91.1					
可燃ゴミ			t	3.30	3.27	99.1	静岡ダイハツ分の作業時に生じる廃棄物を返却（△0.33t/年）		△ 0.33	2.94	→	89.1	外部持ち込みゴミの削減				
その他一般廃棄物			t	0.88	0.87	98.9				0.87	→	98.9	ペーパーレス会議の活用促進による紙出力の抑制 裏紙を再利用することによる排出量削減				
社会貢献活動項目			単位														
エコキャップ回収			個	70,629	71,100	100.7				71,100	→	100.7	25個×239名×12カ月に計画				
地域清掃(除く雨天時)			-	2回/月	2回/月	-			-	2回/月	→	100.0	前年並み				
献血活動			-	3回/年	3回/年	-			-	3回/年	-	-	前年並み（前年 浜松：1回、支社本部：2回）				
献血希望者（受付人数）			名	68	-	-			-	-	-	-	TMP従業員：50名（38名/23年）、社外：17名（前年並み）とし、展開方法を見直し・藤枝支社本部においては事前に部署ごとのタイムスケジュールを設定し、業務調整を行い、人数確保につなげる				
献血実施者			名	55	-	-			-	55	67	121.8	・就業時間内に他拠点・最寄り献血会場まで行き献血の実施を認可 ・プライベートでの献血活動についてもエビデンス提示により実績とする				

【11】2025年度の環境経営計画

主要な環境経営計画の内容

項 目	実施時期	該当部署
1. 二酸化炭素排出量の削減		
(1)電気		
① 再生可能エネルギー由来電力導入	通年	管理本部
② 藤枝支社本部社屋の太陽光発電、BEMSデータによる省エネ設定		全部署
③ 室内温度の管理の徹底		
④ 不要時の照明オフの実施		
⑤ パソコンの省電力設定の徹底		
⑥ トヨタ環境月間に運動したライトダウンキャンペーン実施		
⑦ 節電のアイデアを募集し全社へ横展開を図る(創意くふう制度)		
⑧ 電力消費量の見える化による日常管理の意識付け		
⑨ エアコンフィルターの定期清掃	4回/年	管理本部
(2)-1,2 ガソリン・軽油		
① テレビ・TEAMS会議導入により、社用車使用の減	通年	全部署
② 安全点検の徹底(タイヤ空気圧、オイル交換)	随時	管理本部
③ 社用車のさらなるPHV・HV化の継続		
④ 全拠点サテライトオフィス運用により移動距離短縮		
2. 廃棄物等排出量の削減		
(1) 産業廃棄物等排出量		
① リユース、リサイクルの推進	通年	全部署
② 廃棄物の実績管理		
(2) 一般廃棄物等排出量		
① ゴミ分別の徹底	通年	全部署
② 裏紙再利用の徹底		
③ 廃棄物の実績管理		
④ ペーパーレス会議等の推進		
⑤ 認証印刷システム活用による不要印刷削減		
3. 総排水量		
① 使用量の確認と大幅な増加(水漏れ等)のチェック	通年	全部署
② 水道使用量の見える化による日常管理の意識付け		
4. 化学物質の適正管理		
① 化学物質の適切管理	2回/年	物流本部
5. 環境配慮型の製品やサービスの提供		
(1) リサイクルバンパーの回収	通年	営業本部
6. 社会貢献活動の推進		
(1) エコキャップ回収活動	通年	全部署
(2) 会社周辺の清掃活動	2回/月	
(3) その他取組み		
① 【継続】献血の促進	随時	全部署
② 【 】書き損じはがき回収活動の推進		
③ 【 】自治体主催の清掃活動の参加		
④ 【 】拠点美化活動の実施		
⑤ 【 】文房具・衣料品寄付活動		
⑥ 【 】『こども110番の家』(6事業所)		該当部署
⑦ 【 】「スペシャルオリンピックス日本・静岡」への支援		全部署
⑧ 【 】特別支援学校 への教材支援		
⑨ 【 】トヨタソーシャルフェスへの参加		該当部署
⑩ 【 】『浜松市子供安全ネットワーク推進事業』参加		全部署
⑪ 【 】交通立哨継続実施		
⑫ 【 】油水分離槽からの油流出時の対策		該当部署
⑫ 【 】浜松市『こども安全ネットワーク』事業参画		
⑫ 【 】沼津市『ながら見守り』事業参画		
⑬ 【 】藤枝市『安全安心サポートネットワーク』事業参画		

【12】代表者による評価と見直し

自動車が環境に与える影響は非常に大きく、自動車関連企業である当社にとっても、環境負荷の低減は重要な社会的責務であると認識しています。そのため、お客様や地域の皆さまと共に、積極的に取り組みを進めています。

当社では毎月「CSR環境委員会」を開催しており、各部署の代表メンバーが牽引役となっており、部門ごとに具体的な環境活動を推進しています。会議では、設定した環境目標に対する進捗状況の確認、要因分析、対策の検討、実施後の効果検証まで、PDCAをしっかりと回しています。

2024年には、CO2排出量削減を目的とし、BEMS（ビルエネルギーマネジメントシステム）で収集した電力使用データをもとに、エアコンの分散起動や昼休み時間帯の連続運転などの工夫を通じて、電力使用量の削減に成功しました。

また、2年前より開始した「共同配送」では、ダイハツ車部品の配送範囲を県内全域に拡大し、静岡県全体での環境負荷軽減に貢献しています。

近年、地球温暖化の影響によりエアコン使用量が増加しています。これを受け、2024年度からは、太陽光や熱を反射して建物内の温度変化を抑える「遮熱シート」に注目し、自動車整備工場の作業環境の改善と電力削減を目的に販売を開始しました。加えて、自社でもその効果を活用すべく、2025年4月に静岡営業所へ遮熱シートを導入し、設備面からの環境対策・働き方変革を進めています。

社会貢献活動においては、「スペシャルオリンピックス日本・静岡」や県内の特別支援学校への支援、各自治体が推進する「子供見守り活動」や防犯パトロール、地域清掃など、多岐にわたる取り組みを通じて、地域社会への貢献を続けてまいりました。

2025年度は、CSR環境委員会のメンバーを中心に、支社全体で環境対応の取り組みをさらに強化し、CO2排出量のさらなる削減を目指してまいります。電力使用についても、静岡県が推進するカーボンニュートラルプロジェクトに賛同し、2025年4月より当支社で使用する電力をすべて再生可能エネルギーに切り替えました。

また、共同配送の取り組みについても、新たなフェーズとして、同業他社と連携しながら県内部品配送を協力体制で進めるなど、より広範な地域貢献と効率化を実現していきたいと考えています。

社会貢献活動では、防犯・犯罪防止を軸としつつ、今後はハイブリッド車や電気自動車などの給電車両を活用した「防災訓練」への協力も定着させていく予定です。

当社単独ではなく、行政・お客様・地域社会・同業他社と連携しながら、SDGsやカーボンニュートラル、環境対応に向けた取り組みを力強く推進してまいります。今後も「エコアクション21」の認証を継続し、社員一丸となって環境負荷の削減に取り組んでいく所存です。

2025年6月6日 静岡支社長 京極 知樹